

# 平成梅林実現に更に前進!

## 第二回植樹祭・橋命名式を挙行



### 第二回植樹祭・橋命名式開催

平成二十一年二月十五日午前一〇時から、好文橋北の苗畑で第二回植樹祭および橋の命名式が挙行されました。茨城県知事橋本昌、水戸市長加藤浩一、衆議院議員赤城徳彦、参議院議員岡田広、同藤田幸久の各氏はじめ来賓多数を迎えることができました。参加者は来賓・役員を含めて一八六名でした。

好天のもと、石森礼子理事の司会、梅大使のアシストも得て、式と植樹祭は滞りなく進められました。

小菅次男副会長の開会の言葉ののち、主催者として和田祐之介会長から「本日は記念すべき植樹祭となりました。今日植える一六七品種約五〇〇本の苗で、三七三品種となり、品種の数では日本一の梅園になりました。寄付に協力してくださった多くの方々、苗畑を造成していただいた茨城県の関係者に感謝します」との挨拶がありました。

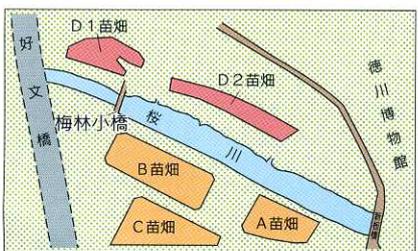
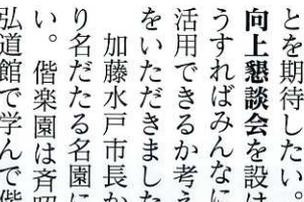
次に宮嶋敬夫顧問が「近年の住宅事情の変化と嗜好の変化によって花梅の苗生産は危機に陥っている。この事業は今失われつつある梅の品種を保存し、後世に伝えるというのが理念であり、目的である。今回の苗は、旧東京都立農林高校が全国から収集された梅の見本園から、こ

好意で、偕楽園にない品種の穂を採取させていただき苗木に育てたものが主になっている。今後はこのような大口の梅の枝を一挙にそろえることが困難なので、全国の愛梅家に理念と目的を訴えて枝を採らせていただくかなければならない」と経過報告がされました。

橋本茨城県知事から「偕楽園には明治十八年の本で二百種類五千本の梅があるとされているが、もうそれを越えた。今後も尽力されて目標の五百品種が揃うことを期待したい。県も偕楽園公園の魅力向上懇談会を設けて、偕楽園の財産をどうすればみんなに楽しんでいただけるか、活用できるか考えております」との祝辞をいただきました。

加藤水戸市長からは「三七三品種になり名だたる名園になったことを感謝したい。偕楽園は斉昭公の時代に二張一弛、弘道館で学んで偕楽園で休息を取る階級制度が厳しい中で、民と偕に楽しむ公園として作られた。今もって料金を取らないで市民のための、県民のための公園として多くのお客を迎えている。多くの人に来てよかったなあと改めてもらえるような整備を行ってほしい」との祝辞がありました。

来賓紹介、祝電披露の後、新たに整備された橋の命名式が行われました。和田会長が、会員から三一の提案があった中から、橋本知



### 平成梅林の今後

上の記事にあるように、茨城県は今年度の植樹に向けて合わせて現苗畑の西側に新たな苗畑を整備していただきました。(図のD1・D2苗畑)

梅苗木は、現在約六〇種類を育成中で、これを来年の植樹祭で定植します。残る品種は希少品種でツグ穂の確保には多くの困難が予想されますが、再来年の第四回植樹祭までには五百品種の苗木を確保するよう努力します。

事後橋のテープカットと渡り初めを行い、参加者も橋を渡って新設の苗畑へ移動。

会長と来賓たちによる記念植樹の後、参加者はすでに定植されている梅の枝を支柱に固定する誘因作業に参加しました。川上清副会長から「後世に、二十一世紀の初めに五百品種の梅を楽しめるように努力した人がいると振り返ってもらえるようになる」との言葉で閉会しました。

平成梅林推進事業の重要性和会への期待の大きさと責任の重さを感じさせられた半日でした。

梅苗木は、現在約六〇種類を育成中で、これを来年の植樹祭で定植します。残る品種は希少品種でツグ穂の確保には多くの困難が予想されますが、再来年の第四回植樹祭までには五百品種の苗木を確保するよう努力します。

# 記念講演「浪華の梅」について

## 行事報告

水戸史学会副会長 久野 勝弥氏

一九六〇年茨城大学教育学部卒。日本史専攻。県内中学校・高校で教職につく。八〇〇八三年茨城県立歴史館研究員、八三〇八年水戸三高校校長を最後に定年退職。著書に『他藩士の見た水戸』（編著、錦正社）などがある。当会理事。

### 水戸義公と梅

演題の「浪華の梅」というのは、梅の品種ではありません。水戸の彰考館に浪速（大阪）から移した梅であります。水戸の殿様がこの梅とどう関わったかをお話しします。

義公さんと梅については配布資料1の「誕生梅」の歌にあるように誕生の時から深い関係がありました。資料の2「梅花記」、3「雅号「梅里」の由来」で示したように、梅を愛したことがわかります。

義公さんが梅をどう考えていたのかを示すのが、資料の4「梅者花儒」であります。「梅は花の中の儒者に当たる。それはその瘦せた姿の中に清貧な伯夷を表している」というのです。

伯夷叔斉の話は殷の紂王の時代に後継ぎを兄弟で譲り合った故事にちなんでいます。皆さんご存じのように、光圀は兄を超えて藩主になった、浪速の梅も兄弟の譲り合いに関係していますから、東京に彰考館を建てた時に大阪から取り寄せて植えたということであり

ます。義公さんは生まれてから亡くなるまで梅と深い関係があつたのです。

### 水戸烈公と梅

烈公さんと梅の関わりは「種梅記」にすべて記されています。資料1には、最初の就藩（定府制の水戸藩の藩主が藩に行くこと）の時に梅が少ないことに気づき、南上（水戸の藩主が江戸に戻る）後、梅の実を水戸に送り園吏長尾景徳に命じて、苗の穂を桃の台木に接ぎ穂し、更に土中で梅から根を出させて苗木とする、という方法を指示しています。早く開花させ、実をつけさせる方法であります。

資料の2は偕楽園を開設した際に梅を植えたという話です。最も人口に膾炙している「弘道館梅花を賞す」を載せておきました。

3は偕楽園造成の意図であります。二張一弛（にせういつし）が出てまいります。これについては、別の資料に「ゆとり」というものは努力をした後で感ずるものである。始めからゆとり



があるわけではないうようなことを言っております。資料4の「秀芳の由来」は水戸二

高の同窓会名の由来となる文章を示しておきました。

### 浪華梅

さて、本題の浪華の梅に話を進めます。

資料1の「義公と難華梅」にあるように、光圀は「江戸小石川の彰考館の庭に浪花高津宮ゆかりの梅の実を植える」のであります。高津宮は難波に遷都した仁徳天皇に関係する場所です。十五代応神天皇の後継ぎをめぐって弟の「うじのわきいらつこ」と皇位を譲り合ったが、弟が百濟出身の学者王仁の「兄を越えて弟が皇位につくことはない」という教えを聞いて自殺してしまうという話があります。資料に示した「王仁の和歌」は仁徳天皇が即位した時に詠んだ歌であります。

義公さんは兄を超えて位についてしまった、これが義公の原点でありますから、兄弟の譲り合いにちなんだ浪速から梅を取り寄せて植えたのであります。

梅は、好花木という別名があるように、学問に励めば多く花が咲く。梅に託して大日本史の事業の発展を卜したのでしょうか。水戸に彰考館を建てた時にそこにも梅を植えた。これが水戸の「浪華の梅」の始まりです。

会沢正志斎の日記にも浪華梅の周りの樗と椎の枝を切ったと書いてあります。資料2「六代治保の詠詩」には、

一首載せました。資料3の「烈公と浪華梅」には、第一回就藩の時に浪華の梅を詠ったものを紹介しています。

ここにある「家の風」には二つありまして、一つは大日本史の編纂、もう一つが兄弟の譲り合い。それが梅の香りのように今も残っていると詠ったわけです。

斉昭も兄弟の譲り合いの恩恵を受けております。『茨城県史資料』とは別の系列の『続水戸紀年』に書簡があります。その内容は兄の八代藩主斉脩が家臣岡井富五郎に宛てて、「私が早死にするようだったら敬三郎（斉昭）を後継ぎにすることは書付にして置いておく。すぐに養子にすることは、私と斉昭の母同士の仲が悪いので、できない。この書簡は読んだらすぐに焼却するように」というものです。これがわかっておれば、藤田東湖などが継嗣問題で大騒ぎすることもなかったのです。

### 徳川慶喜と浪華梅

さて、明治十二年に彰考館が常磐神社に移った時に、浪華の梅も植えかえました。それが枯れてひこばえが出ていたところに、栗田寛の「波華梅の記」の碑が建てられ、その碑に徳川慶喜公に揮毫を依頼して、万葉仮名で「家の風」の和歌が刻まれています。

（要約と（ ）内の注は大槻） 当日配布された資料は同封の通常総会資料に綴り込んであります。

# 行事報告

## 偕楽園を楽しむ!・平成21年度通常総会

### 晩秋の偕楽園を歩く

十一月二十三日午前九時〜五〇名参加。桜田門外ノ変映画化支援の会と共催。

晩秋とはいえ銀杏が黄金色に輝く快晴の絶好のウォーキング日和。歴史館で簡単な準備体操をしてから、銀杏並木を通り、蓮沼から岩間街道をくぐる連絡通路を抜け、偕楽園に向かいます。「表門」から入り、孟宗竹林を抜けて吐玉泉へ。中門を通り、好文亭に入ります。好文亭は斉昭公自ら設計したとの説明を受け、改めて烈公の偉大さを思いました。

芝前門を通り、左近の桜、仙奕台の説明を受け、見晴広場を通り過ぎます。水戸八景のひとつ「櫻湖暮雪」、正岡子規の句碑を眺め、南門を抜け梅桜橋を渡り、護国神社の下を通って偕楽園公園センターを見学、小休止です。

丸山橋を渡り窺窺梅林を抜けて苗畑を見学。月を映して眺める「月池」を通り、千波湖畔へ。水戸光圀公像と斉昭公・七郎鷹像を見学。偕楽橋を渡って常磐神社へ。東湖神社、三木神社、義烈館の説明を受け、みなさま常磐神社へお参り。

歴史館に到着後、クールダウンの運動。晩秋にすがすがしいウォーキングと、地元に住みながら見落としていた偕楽園を学び、その良さを知った半日でした。

(桜田門外ノ変映画化支援の会) ウェブページ <http://miotoppo.jp/report20081123.htm> より要約の上作成。大槻記)

### 平成二十一年度通常総会開催

平成二十一年四月十七日午後二時より、水戸市公園協会会議室において平成二十一年度通常総会が開催されました。

「第二回植樹で、日本一の品種の多い公園になりました。来年、再来年で五〇〇品種を達成するめどもつきました。今後維持管理が大変ですが、同時にずっと梅を通して偕楽園とかかわれるという楽しみがあります」との会長のあいさつののち、来賓紹介がありました。

「水戸市一二〇周年、開藩四〇〇年の記念すべき年に、名実ともに日本一の梅林公園になりました。水戸市も偕楽園に隣接する千波公園に来園者が立ち寄ってつくる新しい好文茶屋を建設する予定であります。多くの人に親しまれる公園整備を進める所存です。」との加藤浩一水戸市長のメッセージが代理出席の阿部寿志氏から紹介されました。

この後和田会長の議長のもと事業報告、決算報告、監査報告が平成二十一年度事業計画案、予算案が審議され、すべて原案通り承認されました。



総会風景

事業報告では、川上清副会長の巧みな運営で、それぞれを分担す

る副会長、理事に報告の機会が与えられ、和やかに進められました。この中で、植樹祭以後四月十日に別途業者依頼していた一六品種が定植され三八九品種となったことが報告されました。

事業計画については、従来の事業に加えて、偕楽園公園と一体をなす弘道館の魅力を引き出すものとして、「弘道館・親と子の論語塾」の事業を始めることが提起され、承認されました。それに伴い、すでに東京で論語塾を開催されている会員の伴充弘氏が担当理事に就任することが承認されました。その他、偕楽園の魅力を来園者にわかりやすく伝える小冊子「偕楽園何でも百科」の編集作業に着手することも提案されました。

### 平成梅林募金新規協力者

#### 募金協力者一覧

平成二十年二月〜平成二十一年四月末

#### 法人・団体・有志の部

##### 十万円以上

水戸高等学校同窓会 水戸青年会議所 茨城県造園建設業協会県北支部 東京都大田区道路公園課

##### 二万円以上

茨城大学付属中学校二七水城会 (株)伊藤鑄造鉄工所(那珂郡東海村) (株)小林造園 広木動物病院 (株)大京園

##### 一万円以上

(株)小澤造園 常磐造園(株) 水戸土木協会水戸商工会議所青年部 イベント・ベック(株)植正園 (株)オクツ (有)トゥインクルフードコーポ

レーション (株)日本造園 水戸西ロータリークラブ (株)フジクリー 茨城 水戸八幡宮 三千円以上 アールワン(R・ONE石森玲子) 三の丸ホテル (株)石翠園

#### 個人の部

##### 十万円以上

ハタヤテツタロウ

##### 五万円以上

富山悦子(東京都新宿区)

##### 二万円以上

池田誠(東京都新宿区) 田嶋啓三(ひたちなか市) 小島武保(水戸市) 松山久子(日立市) 幸加木恵(牛久市) 野中重夫(神奈川県横浜市)

##### 一万円以上

水戸市 井上喜好 寺門久雄 戸室康友 野本人資 ひたちなか市 田嶋啓三 伊藤幸司 柳生修 茨城県内 真家幸雄(石岡市) 瀧本達也(笠間市) 吉田邦彦(茨城県)

#### 東京都

檜山雅顕(江東区) 伴充弘(台東区) 丸山栄子(八王子市) 末正明(文京区) 窪寺雅幸(神奈川県川崎市)

#### 三千円以上

下山田芳子(水戸市) 徳永妙乗(水戸市) 岡田實(鹿嶋市) 水戸市

#### 石川正子

湯村猛 藤澤藤子 加藤和男 小野勝男 久野幹夫 久野光江 館静馬 川崎篤行 山口勲 小松昭治(常陸太田市)

#### 一般募金者は次号に掲載

新行事「弘道館・親と子の論語塾」

弘道館は天保十二年（一八四一年）第九代藩主斉昭公によって創られた藩校であります。文・武・医の三分野を教える総合大学ともいえる学校で、全国にも知られ、幕末から維新にかけて日本に大きな影響を与えてきました。この弘道館で、将来を担う子どもたちを中心に論語を学び、人の生きる道を学ぶ機会を作る論語塾を開講します。

日時 平成二十一年八月一日（土） 十時～弘道館正庁で開校式 以後、毎月第一土曜日十時三十分～十一時三十分

- 場所 弘道館至善堂
講師 安岡定子氏
内容 親と子の論語（素読と解説）
対象 子供と保護者、大人だけでも可
募集人員 一〇〇名
開講期間 今年度は平成二十二年三月までの八ヶ月
受講料 一回当たり一家族千円、大人一人千円
申込方法 同封のチラシにて本会事務所に申し込み下さい。
〒310-0053水戸市末広町二二二一〇
Tel 〇二九一二二二二二二一七
申込締切 七月十五日
主催 偕楽園公園を愛する市民の会
講師 安岡定子氏
一九六〇年生まれ、二松学舎大学文学部中国文学科卒業、陽明学者安岡正篤氏の次男正康氏の長女、各地で「こども論語塾」を主催。

これからの行事

本会の行事は「水戸市報」や新聞各紙などの行事案内に掲載されるよう努力していますが、会員への個別のご案内は致しません。

お問い合わせはがき又はファックスにて連絡担当者までご連絡ください。

偕楽園梅で昔梅干を作る

偕楽園の梅でプロ直伝、こだわり塩の梅干を作ってみませんか。

期日・時間 六月十三日 午後二時
（株）根本漬物集合
住所 渡里町一八〇〇
Tel 二二二一六一五三

- 持物 エプロン・筆記用具・帽子
七月三十日又は三十一日（予定）
仕上げ・容器詰め・配布
定員 三〇名（会員・募金協力者限定）
参加費 無料（会で負担）
申込方法 はがき又はFAXにて住所・氏名・電話番号・偕楽園梅干と明記。
申込締切 六月十日
申込先 川上 清
〒311-4143水戸市大塚町九九三一七
Fax 〇二九一二二二二二三四六

偕楽園を歩いて知る

七月五日（日）午前九時～十二時
午前九時 茨城県立歴史館集合
緑したたる人不在の偕楽園を歩く
水戸来訪者は九割が春と言われ、その他は晩秋を除けば偕楽園もひっそりです。そんな中梅雨時の偕楽園の魅

力に気づいてほしいと計画しました。緑が色を増し、雨に濡れたたたずまいに惹かれます。誰もいない園は自分だけの園と感じます。静かな落ち着きの偕楽園を楽しみませんか。

連絡担当 川上 清
〒311-4143水戸市大塚町九九三一七
Fax 〇二九一二二二二二三四六

今年度の予定

平成二十二年一月三日 新春の偕楽園にすがすがしさを追いかけてよう
平成二十二年三月七日 最盛期の梅花を愛でて水戸に偕楽園のあることを感じよう

大名庭園サミット東京大会

テーマ 水の文化と庭園
（水と緑を活かしたまちづくり）
期日 二〇〇九年十月二十三日（金）
二十四日（土）

- 場所 小石川後楽園（協議会幹事会）
文京シビックホール（第I部・第III部）
東京ドームホテル（第II部）
内容 第I部 基調講演・パネルディスカッション
第II部 交流懇親会
第III部 公開シンポジウム
エクスカージョン 四コース
本会の参加
八〇名を目標として、参加します。
十月二十三日午後一時
文京シビックホール集合
参加費 一万円
宿泊 日中会館ホテル（希望者）
申込方法 総会資料に添付の申込書を左記連絡担当者まで郵便又はファックスでお送りください。
申込締切 八月十五日（延長します）

平成梅林整備推進事業

苗畑の管理

苗畑の管理作業のうち、剪定・施肥・薬剤散布など技能や器具を要する作業は業者に委託せざるを得ませんが、一般的除草作業は会員参加で実施します。

期日 随時、役員及び協力希望者に電話・ファックスで連絡
作業内容 除草・その他
持物など 軍手・鎌、作業に適した服装のこと

梅苗守募集
作業に協力する意思をお持ちの方は左記までがきでご連絡下さい。
連絡担当 後藤 詮司
〒311-0913水戸市見川町一一二〇〇
一 二
Tel 〇二九一二二二二二一九四七

募金事業

平成二十一年四月三十日現在
基金合計 七、四七三、一六〇円
協力者 一、〇六七一件
（団体・法人、重複を含む）
助成金 八七〇、〇〇〇円
花王都市緑化基金 六七万円
茨城コープ環境基金 一〇万円
大好きいばらき県民会議 一〇万円
その他寄付・利息 四一、八二二円

連絡担当 湊 正雄
〒310-0843水戸市吉沢町二二二二
Tel/Fax 〇二九一二四七〇四三八